

くじの方法

1 くじにより落札者を決定する場合

落札となるべき最も高い合計評価点を得て入札した者が2人以上あるときは、技術的能力評価に係る評価点が最も高い者を落札者とする。この場合において、技術的能力評価に係る評価点が同点であるときは、入札金額が最も低い者を落札者とし、当該者が2人以上あるときは、「くじ」により落札者を決定しますが、その方法は次のとおりです。

(1) くじ番号

郵便入札の対象となった案件は、くじを行う場合に備えて、入札書の「くじ番号記載欄」に、あらかじめ任意の3桁の数字「000～999」を記入してください（「0」も記入が必要）。

なお、記入のない場合や1文字でも判別できない数字がある場合、当該数字は県担当者にて「0」に置き換えます（くじの辞退は不可）。

(2) くじの手順

ア 抽選番号の付与

郵便入札者は、入札書の受領順に「抽選番号」を付与します。なお、入札書の到着日が同日の場合、入札書に記載された任意の「くじ番号」の小さい順に付与します。

入札執行日に入札した者は、郵便入札者に引き続き、「くじ番号」の小さい順に「抽選番号」を付与します。なお、「くじ番号」が同値の場合は、商号又は名称の五十音順に付与します。

イ 当選番号の算出

くじの対象となる入札をした者が2者以上あるときは、くじの対象となる入札をした者の「くじ番号」を合計し、その合計をくじの対象となる入札をした者の数で除した「余り」を「当選番号」とします。

ウ 落札者の決定

「当選番号」と一致する「抽選番号」を保有する者を落札者としします。

エ 2順位以下の決定

落札者が何らかの理由により契約を辞退した場合や低入札価格調査制度等の審査を要する場合に備え、あらかじめ2順位以下を決定します。

○ 郵便入札における「くじ」の例

例 1 : A 社、B 社、C 社の全てが郵便入札

1 抽選番号の付与

入札書の到着順（A 社→B 社→C 社）に「抽選番号」を付与
A 社… 0、B 社… 1、C 社… 2

例 2 : A 社、B 社は郵便入札、C 社は入札執行日に入札

1 抽選番号の付与

① 郵便入札者

入札書の到着順（A 社→B 社）に「抽選番号」を付与
A 社… 0、B 社… 1

② 入札執行日に入札した者

郵便入札者に引き続き「抽選番号」を付与
C 社… 2

※ 例 1、例 2 において、2 以下は同じ取扱いとなる。

2 当選番号の算出

各社が入札書に記載した「くじ番号」の和を求め、同額入札者数で除した余りを「当選番号」とします。

くじ番号：A 社… 5 9 2、B 社… 0 6 6、C 社… 4 8 3

$(5\ 9\ 2 + 0\ 6\ 6 + 4\ 8\ 3) \div 3 \text{ 者} = 3\ 8\ 0 \cdots \text{余り } 1 = \text{「当選番号」}$

3 落札者の決定

「当選番号 1」と一致する「抽選番号 1」を付与された B 社が落札者となります。

4 2 順位以下の決定

落札者の「抽選番号 1」に 1 を加算した数字と一致する「抽選番号 2」を付与された C 社を 2 順位、残りの A 社を 3 順位とします。

※ 落札者の「抽選番号」に 1 を加算した数字と一致する抽選番号が存在しない場合は、「抽選番号 0」を付与された者を 2 順位とする。